

2023 年度 市民自然観察会「街中ジオ散歩」のご案内

【主催：北海道自然保護協会、協力：山の手博物館】

札幌の街は、母なる川豊平川の1万年以上前からの営みによりできた大地(豊平川扇状地)に位置しています。「街中ジオ散歩」では、市民の皆さんとともに豊平川扇状地を作った古い河川「サッポロ川」の痕跡をたどり、札幌の生い立ちを探ります。

今年は以下の要領で3回開催します。

皆さんの参加をお待ちしています。

各回とも、集合は午前10時、解散は午後3時。

定員：20名(申し込み順) 昼食・飲物持参。

小雨時は実施します。

小雨の場合は、傘・雨靴・敷物などを用意してください。

中止の場合は、午前7～8時に電話連絡します。

参加費：各回2,000円(会員は1,000円、保険代・資料代を含む)

申込先：北海道自然保護協会 事務所(電話 011-876-8546、メール info@nc-hokkaido.or.jp)

申込受付(先着順)は1ヶ月前から1週間前まで。

氏名・年齢・性別・住所・連絡先を添えて、お申し込みください。

問い合わせ・連絡先：宮坂省吾(メール galant@cronos.ocn.ne.jp、携帯 090-3892-3293)

コロナ感染対策に留意すること。当日朝は体温をチェックしてください。受付時にお聞きします。

第1回街中ジオ散歩「三角山」

日時：6月10日(土) 10:00～15:00

定員：20名(申し込み順) 昼食・飲物持参。

小雨時は実施します。

小雨の場合は、傘・雨靴・敷物などを用意してください。

中止の場合は、午前7～8時に電話連絡します。

参加費：2,000円(会員は1,000円)(保険代・資料代を含む)。

別途料金：リフト代金(一般1,000円：高齢者(65歳以上)、札幌市民割引あり)。

集合：JRバス大倉山線 バス停(大倉山競技場前) 10:00

バス利用者は、地下鉄円山公園駅バスターミナル 大倉山線「くらまる号」(4番のりば)9:15発に乗車、大倉山競技場前で下車。

車の方は無料駐車場があります(集合場所までは徒歩5分ほど)。

行程：大倉山展望台と三角山採石跡地。

午前の部(10:15～12:00)：大倉山展望台から藻岩山～手稲山などの地形、三角山安山岩、針広混交林帯の森林を観察。山名の変遷や森林の攪乱の歴史を解説します。

午後の部(13:00～15:00)：三角山採石跡地で、三角山安山岩の解説・節理と熱水変質を観察。また、跡地で行われた植樹緑化事業の結果や跡地で自然回復した樹木を観察します。

解散：三角山採石跡地 15:00(大倉山競技場前 15:30 発円山公園駅行「くらまる号」乗車)

観察マップ：



第2回街中ジオ散歩「中島公園」

期日:8月5日(土)

内容:中島公園は、豊平川扇状地を造った古サッポロ川の流路跡です。2,000年ほど前にサッポロ川(現在の豊平川)へ流路が移動し、扇状地には名残川が流れ始めました。それが鴨々川の始まりです。ジオ散歩では、パークホテルや伊夜日子神社付近に残る古い河川地形を見学します。鴨々川沿いの川岸には豊平川上流域に分布する岩石が円礫となって散らばっています。これは古サッポロ川が中島公園を流れていた証拠です。豊平川から鴨々川への分流口、豊平川河床に堆積した円礫、堤防により住宅地となった豊平川の川跡なども観察しましょう。豊かな樹木の特徴も紹介します。

第3回街中ジオ散歩「伏籠川上流」

期日:10月7日(土)

内容:フシコ川は西暦 1800 年頃まで流れていたサッポロ川の名残川です。サッポロ川を利用した用水「大友堀」の川跡とフシコ川への落とし口(大友公園)を訪ねます。そこからサッポロ川を上流に向かい、法国寺前と対岸にある北 13 条北郷通沿いの河岸跡、苗穂小学校から大覚寺までの河川低地を歩いてみます。フシコ川東分流の東岸にあったと思われるアイヌの墓、ツイシカリ・アイヌが住んでいたフシコ川北岸が微高地(自然堤防)となっていることを紹介します。札幌市の保存樹となっている大覚寺のヤチダモ・イチョウ・シダレヤナギも観察します。